

4年生の社会科では こんな学習に取り組んでいます

広島市立牛田小学校

4年生の社会科でつけていきたい力は...

- ・人々の健康な生活や安全を守る諸活動について理解します。
 - ・人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解します。
 - ・地域における社会的事象について調べ、表現し、その特色や関連を考えます。
- 観察や調査・見学・体験などの具体的な活動や、目的に応じた表現活動を、学習に取り入れます。
図書室や公共の図書館、コンピューターなどを活用し、資料の収集・活用・整理を行います。
総合的な学習の時間と関連を持たせ、活動の時間を十分保障します。

目標

方法

学習する単元

学習の内容

前期
3
6
時間

1. けんこうな暮らしを守る

- (1) 暮らしをささえる水
電気と暮らし
ガスと暮らし



(2) ごみのしまつ

2. 暮らしのうつりかわり

- (1) 古い道具と人びとの暮らし

人々の生活にとって必要な飲料水の確保の事業は、組織的・計画的に進められてきていることを理解し、健康な生活の維持向上のためにできることを協力します。

飲料水を確保するための、事業や、施設・設備の様子を調査したり、見学したりして調べ、地域の人々の生活や健康の維持向上に役立っていることを考えます。

身近な地域のごみの処理や再利用について関心を持ち、意欲を持って見学や調査をし、これらの事業が地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解します。

見学や調査をしたことをもとに、わかりやすくまとめ、絵・グラフ・文章などに表現します。

昔の道具の様子や使い方を具体的に調べ、昔の人びとの知恵や工夫に気づき、当時の人びとが生活の向上を願ってきたことを考えます。

昔と今の道具の違いを通して、人びとの暮らしの様子の変化を理解し、現在の自分達の生活の歴史的背景に関心を持ちます。

後期
4
9
時間

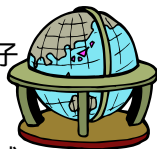
(2) 文化財や年中行事

(3) 地域の開発につくした人びと

- ・八木用水と桑原卯之介
- ・太田川の改修

3. わたしたちの県の様子

- (1) 広島市の位置と
広島県の様子



(2) 広島県の

いろいろな地域

(3) 広島県の広がり暮らし

身近な地域の歴史を伝えるものに気づき、人びとが地域の暮らしをよりよくしようと願い、工夫、努力してきたことを理解します。歴史を伝えるものを見つけ出したり調べたりし、人びとがどのような願いや思いをもつてくらしにいたかについて考えます。

八木用水が人々の願いにもとづいて、様々な工夫と努力によって完成したことや、完成によって土地利用や人々の生活が変わってきたことを調べ、土地開発の意味について考えます。

人々の願いにもとづき太田川改修工事が始まり、放水路ができたことで、人々の生活が水害から守られるようになったことや、環境保全にも役立っていることを理解します。

広島市の位置を隣接する市などとの関係から調べたり、ある地点からの方位と距離を用いて表したりするとともに、広島県全体の主な山地や平地、川、海などの位置や広がり様子と、そこに見られる主な産業の概要や分布を調べます。

広島県の特色ある産業や地形が見られる地域について、そこで産業に携わったり生活したりしている人々の生活の様子を調べます。

広島県の人々の生活や産業は、県内だけでなく、国内の他地域や外国とも結びついていることを調べます。

評価

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1 「すすんで社会科の学習ができる」 | 授業への参加，提出物，発表など |
| 2 「社会的事象の意味を考え、適切に判断できる」 | 行動観察，発表内容など |
| 3 「資料を効果的に活用し、調べたことを表現できる」 | 作業，新聞づくり，発表内容など |
| 4 「社会的事象の役割やつながりがわかる」 | テスト，新聞づくり，発表内容など |